



進路だより

令和3年度 第5号
令和3年12月13日
島根県立大東高等学校
進路指導部 発行

徹底特集：テーマ『大学入学共通テスト』

1・2年生 <大学入学共通テストとは…>



- ①大学入学共通テスト（以下「共通テスト」と略記）は大学入試の1次試験。
共通テストは、次の②のように多くの大学で利用されます。したがって大学を受験しようと考えているほとんどの人にとっては避けては通れない第1関門です。
ほとんどの国公立大学では個別学力検査、いわゆる2次試験があります。共通テストに参加している私立大学や短大では、共通テストだけの成績で合否を判定する方式や、共通テストと個別学力検査をあわせる方式、そして個別学力検査のみの方式の3つがあります。
- ②今年度（令和4年度入試）共通テストを活用する大学は、国立大学82、公立大学93、私立大学533、公立短大12、私立短大137等の合計864大学。
- ③今年度（令和4年度入試）共通テストを受験する人は、560,367人。
前年度より4,878人減少しましたが、現役志願率は45.1%であり、年々増加しています。
※現役志願率：令和4年3月高等学校卒業見込者（現役生）のうち、共通テストに出願した人の割合。（共通テスト志願者のうちの現役生の割合ではない。ちなみにその割合は84.7%。）
- ④2日間で実施され、1日目は文系教科、2日目は理系教科。（次ページの表参照）
- ⑤解答はマークシート方式で、6教科合計900点満点。
文系：国語(200)、数学(100×2)、英語(200)、地歴・公民(100×2)、理科(50×2)
理系：国語(200)、数学(100×2)、英語(200)、地歴・公民(100)、理科(50×2+100または100×2)
※英語は筆記(100点)、リスニング(100点)の合計200点。
※理科の科目選択方法（次のA～Dのうち一つを選択する。）
（理科①、②の科目については次ページの表参照）
A：理科①を2科目受験する。 B：理科②を1科目受験する。
C：理科①を2科目、理科②を1科目受験する。 D：理科②を2科目受験する。
一般的には、文系の人はA、理系の人はCまたはDとなります。
理科①の基礎科目はすべて1科目50点満点です。
- ⑥各教科・各科目とも、教科書で扱われている基礎・基本的な事柄を中心に出题される。
昨年の合計点（900点満点）の平均は、文系で555点、理系で571点です。各教科・科目の平均点については大学入試センターのホームページで確認してください。
- ⑦国・数・英の出題範囲の学習は、基本的に2年次までに終了する。
- ⑧大東高校の生徒は、島根大学松江キャンパスで受験する。

試験日	試験教科・科目		試験時間(分)
第1日	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理・政経」他	2科目選択 9:30～11:40 (60分×2(+10)分) 1科目選択 10:40～11:40 (60分)
	国語	「国語」	13:00～14:20(80分)
1/15 (土)	外国語	「英語」	【リーディング】 15:10～16:30 (80分) 【リスニング】 17:10～18:10 (試験自体は30分)
第2日	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30 (30分×2) 2科目 ※1科目だけの受験はできない。
	数学①	「数学I」「数学I・数学A」	11:20～12:30 (70分)
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」	13:50～14:50 (60分)
1/16 (日)	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2科目選択 15:40～17:50 (60分×2(+10)分) 1科目選択 16:50～17:50 (60分)

共通テストは、高校で学習してきたこと全てがどれだけ身につけているのか試される試験です。基本的に、英語・数学・国語は1・2年生の教科書の内容から、理科・地歴・公民も教科書の内容から出題されます。平素から家庭学習と授業を大切にして、基礎学力を定着させていきましょう。

3年生

共通テストまであと33日、さあ最後の追い込み!

- 願書は取り寄せましたか？
まだの人は大至急テレメール等で取り寄せましょう。国公立大学の出願締切は、前期・中期・後期のすべてで2月4日(金)です。1/22(土)の進路検討会が終わってからでは間に合いません。共通テストまでには出願する可能性のある大学すべての願書を必ず取り寄せておきましょう。
- 毎日勉強頑張っていますか？ 1点でも多く取るために…
まだ33日あります。裏面の先生方からのアドバイスを参考にして、最後まであきらめずに頑張りましょう。焦りは禁物。あれもこれもではなく、冷静に、自分が点を伸ばせる分野はどこか？それを見極めましょう。
- 不安を克服するには努力しかない！
自分を支えてくれるのは「一生懸命やった！」という自信のみ。
- 新しい問題に手をつけるよりは、今までやってきたことの反復練習をしよう！
模試の見直しや「教科書を覚えるくらい読む」こともよいと思います。
- 本番をベストコンディションで受けよう！
ラストスパートをかけるべき時ですが、度を超えた無理は禁物。栄養と休養は絶対に欠かせません。試験日をベストコンディションで迎えられるように、手洗い・うがい・マスク着用・防寒対策など、体調管理のためにできることはすべてやっておきましょう。（インフルの予防注射も！）
また、当日は朝から夕方遅くまで試験が続きます。自宅で学習するときも、授業でも補習でも、「リラックスした状態」から「集中した状態」への切り替えを意識して訓練しておきましょう。